



SB-43 サマーブラウス



個人利用目的以外での複写や、転売等をご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。

株)きなり パターンショップ Shell button

<http://www.shellbutton.net/>

info@shellbutton.net

出来上がりサイズ・必要用尺

	着丈	バスト	衿丈	袖口幅	裾幅	用尺	バイアステープ
S	61	90	35.5	33	1.6	1.6m	1.2cm幅 両折れ
M	62	94	36.5	34	135.2		
L	63	98	37.5	35	140.8	1.7m	0.7m
LL	64	102	38.5	36	146.4		
3L	65	106	39.5	37	152		

※ バイアステープを共布で作られる場合、途中で1箇所はぎ合わせれば、余った部分で作成可能です。

接ぎ合わせず作りたい場合は、+50 cmほど用尺を足してください。

縫い代について

パターンは全て 縫い代込み になっています。

パターン内にある数字は、縫い代を表します。その数字分、出来上がり線から縫い代を足してパターンを作成しています。

縫い方手順

※ 端処理は、縫い代をロックミシン及びジグザグミシンで処理することを表します。

※ コバステッチとは、表側へ、縫い合わせ端から3mmぐらいまでのところにかける、ステッチのことです。

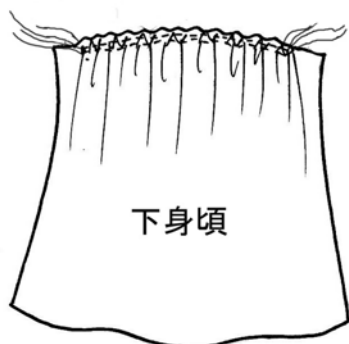
1. 下身頃にギャザーを寄せて、上身頃と縫い合わせます。

①前後の下身頃に、それぞれギャザーを寄せます。

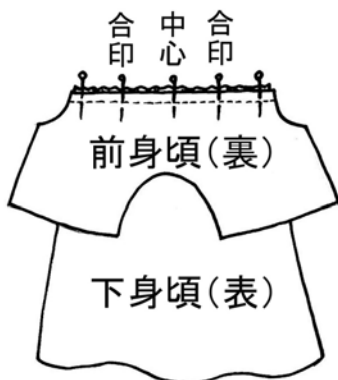
ミシン目を荒くして、縫い代内に、2本ミシンをかけます。

糸は、引っ張り易いよう、少し長めに切ります。上糸か下糸のどちらかを2本まとめて両端から引っ張り、身頃の長さ合うように縮めます。縮めたら、上糸と下糸の4本をまとめて結び、ギャザーが伸びるのを防ぎます。

詳しいギャザーの寄せ方は、HPトップ左側のメニューにあります「部分別の縫い方」をご参照下さい。



②前後中心とギャザー合印を待ち針で止め、上身頃と中表に縫い合わせます。



③縫い代は2枚一緒に端処理をして、上側に倒してコバステッチで押さえます。



2. 肩を縫い合わせ、衿ぐり始末をします。

①前後身頃の両肩を、それぞれ端処理をします。

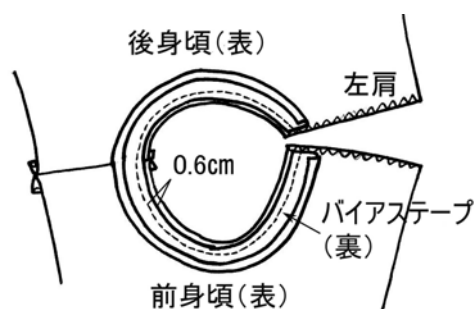
②右肩を中表に縫い合わせます。縫い代はアイロンで割ります。

※左肩はまだ縫いません

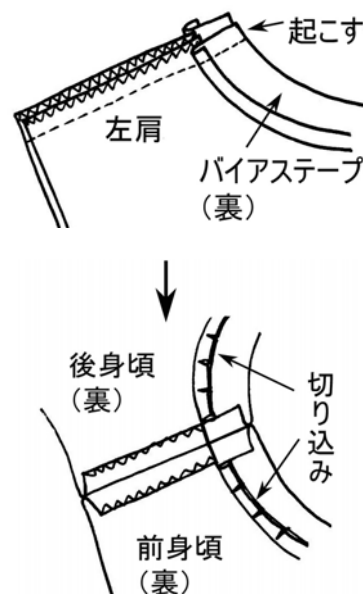


③衿ぐりにバイアステープを中表にあわせ、左肩から左肩まで0.6cmの縫い代で縫います。

※衿ぐりの縫い代は0.6cmになっています。



④左肩を中表に縫い合わせます。この時バイアステープは起こして肩と続けて縫い、縫い代はアイロンで割ります。



- ⑤ 衿ぐりの縫い代のカーブに切り込みを入れ、バイアステープを身頃の裏側へ折り返します。

3.袖口を始末します。

袖口を 1cm の三つ折りにして、前側から後ろ側まで続けて縫います。

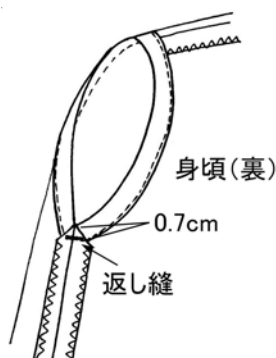
4.脇を縫い合わせます。

- ① 前後身頃の脇の縫い代を、それぞれ端処理をします。
 ② 前後身頃を中表に合わせ、袖口から脇を縫い合わせます。
 ※ロックミシンをご使用の方は、袖口側は、空還の処理をきちんと置いてください。



- ③ 縫い代はアイロンで割ります。

袖口から 0.7cm 下がった所を返し縫いして、脇の縫い代を固定します。



5.裾を始末します

裾は、アイロンで 1cm の三つ折りにし、ステッチで押さえます。

全体をアイロンで整えて出来上がりです。

※シフォンなどの生地で作成の場合は、袖口や裾は巻きロックで仕上げられると簡単です。

方法は、お手持ちのロックミシンの仕様書をご参照下さい。

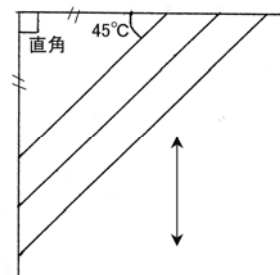
その他の縫い方は、同じで大丈夫です。

バイアステープの作り方

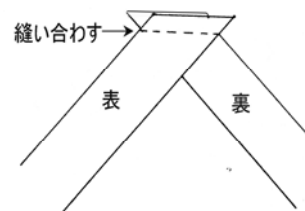
- ① 斜め 45°C (バイアス方向) で、生地を裁ちます。

幅は、仕上がり幅が 1.2cm だとすると、

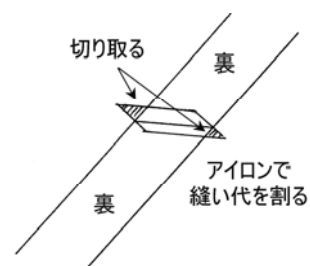
$$1.2 \times 2 = 2.4\text{cm幅になります。}$$



- ② 長さが足りない時は、中表で図のように縫い合わせます。この時、できればミシンの目は細くします。返し縫をすると、生地が厚みが出るため、縫い始め縫い終わり共必要ありません。



- ③ 縫い代をアイロンで割り、はみ出した縫い代はカットします。

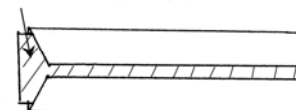


- ④ 0.6cm づつ両側を折ります。

バイアスマーカーをご使用になると、簡単にできます。

バイアスマーカーをお持ちでない場合は、出来上がり幅の厚紙を用意し、その厚紙を当ててアイロンをかけると、一定幅で仕上げる事ができます。

出来上がり幅の厚紙



バイアステープの仕上りの差について

バイアステープを作る生地によって、仕上がり感が違ってきます。

ニットソーイングの場合、同じ型紙で作っても、使用する生地の変性(伸縮率)によって、着用した時のゆとり感が違うのと同じです。

字の目が詰まった(しっかりと)生地で作ると、伸縮率が低くなります。

W ガーゼのように、織りが甘い生地ですと、伸縮率が高くなります。

市販のバイアステープは、一般的に伸縮率が低めです。

バイアステープの扱いに不慣れな方は、市販の物をご使用いただくと扱いやすく綺麗に仕上がります。